

第34回 「四万十川駅伝大会」

2月6日、雨の中の開催となりましたが、小学生から一般まで合わせて19チーム（約120名）が参加して、午前10時に大正北ノ川をスタートし、6区間（12.5km）を力走しました。

沿道からはランナーにたくさんの声援が送られていました。

小学生男子の部

順位	チーム名	記録
1位	北ノ川スポーツ少年団男子	52分47秒

小学生女子の部

順位	チーム名	記録
1位	北ノ川スポーツ少年団女子	1時間2分53秒

中学・高校男子の部

順位	チーム名	記録
1位	キムザップ駅伝部	47分54秒
2位	四万十高校ソフトボール部A	48分19秒
3位	北ノ川中学校	52分18秒

一般男子の部

順位	チーム名	記録
1位	役場駅伝部	47分21秒
2位	ちむまさお	48分30秒
3位	昭和分団	50分47秒



志和防災活動拠点施設新築落成式

2月22日、志和地区にて防災活動拠点施設の落成記念式典が行われ、地元消防団員や関係機関から約70名が参加しました。

志和分団の屯所は、老朽化が著しく、また南海トラフ地震時に津波の想定浸水区域にあることから、地域住民の避難所も兼ねる防災活動拠点施設として移転整備し、消防および防災機能の強化を図ることとしました。

今後は分団の消防活動を中心に、防災学習や訓練などの活用を含め地域活動の場として、また災害時の防災拠点としての有効活用が期待されています。

土居・平野農地保全会が中国四国農政局長優秀賞を受賞！

平成28年度多面的機能発揮促進事業の中山間地域等直接支払部門で、土居・平野農地保全会が中国四国農政局長優秀賞を受賞しました。

土居、平野両集落は、以前から中山間直接支払事業に取り組んでおり、集落内の耕作放棄地の発生防止に努めてきました。また、平野集落では平成25年に「農事組合法人ひらの」を設立し、集落内の担い手としての役割を担ってきました。平成27年度には両集落協定を統合し、土居・平野農地保全会として活動を開始しており、今後も両集落間での連携した活動に取り組むとともに、お互いの集落営農活動のサポート体制の一層の充実が期待されています。



▲右：國枝政澄さん（平野）
左：中嶋敏親さん（土居）

2016年米食味ランキングで高知県西部「にこまる」が特A初獲得！

日本穀物検定協会が発表した2016年産米食味ランキングで、高知県西部「にこまる」が最高評価の特Aを獲得しました。

この食味ランキングは、日本穀物検定協会が、昭和46年産米から毎年、全国規模で実施しているもので、炊飯した白米を実際に試食して評価します。

評価の内容は、複数産地のコシヒカリのブレンド米を基準米として、その基準米と比較しておおむね同等なものを「A'」特に良好なものを「特A」とし、5段階で評価を行うものです。

特Aを獲得した「にこまる」は、高温による品質の低下が少なく、収量の多い品種で、食味も良いことから、高知県が推奨している品種でもあります。

今回の特A獲得は高知県内では初の快挙で、本町で栽培される「にこまる」の今後のブランド化や、農業所得の向上につながる事が期待されます。

日本穀物検定協会 食味試験ランキング

ランク	基準米と比較して※
特A	特に良好なもの
A	良好なもの
A'	おおむね同等なもの
B	やや劣るもの
B'	劣るもの

※基準米は複数産地のコシヒカリのブレンド米



JICA研修 in 興津小

3月7日、国際協力機構・JICAの四国支部が海外10か国の防災関係者を研修員として招き、興津小学校の防災の取り組みを視察しました。

研修員の方々と興津小学校の児童が避難訓練に参加し、向山避難広場まで一緒に避難しました。避難訓練後は、5、6年生が夜間避難マップの作成や蓄光板についてなど日ごろの取り組みについて発表した後、一緒に給食を食べながら交流を深めました。



高知大学出前公開講座 in 四万十町を開催しました

本町が連携協定を結んでいる高知大学の支援で、大学の先生等を招き、幼児教育から可能性引き出す子どもの接し方など、教育分野を中心に連続5回の出前公開講座を開催しました。



▲平成28年12月8日
子どもの接し方・ふれあい方
(是永かなこ先生)



▲平成28年12月17日
大正・十和地域中高連携
バレーボール教室
(高知大バレー部)

第31回 「大正生涯学習大会」

3月5日、日頃の生涯学習活動の成果を披露する大会がきらら大正で開催され、約130人の観客が訪れました。発表の部では、幅広い出演者による和太鼓や詩吟・謡曲、舞踊、歌謡曲等を披露し、会場からは大きな拍手が送られていました。また、編みぐるみの展示も行い、場内に彩を添えました。

